

第 13 回教育委員会

平成 28 年 7 月 12 日
午 後 2 時
本庁舎 7 階市会第 6 委員会室

議 案

議案第 110 号 大阪市文化財保護審議会委員の委嘱について

大阪市文化財保護審議会委員の委嘱について

1 委嘱

平成28年8月8日付をもって大阪市文化財保護審議会委員を委嘱する。

氏名	役 職	任期	区分	専 門	備 考
ありさかみちこ 有坂道子	京都橋大学文学部歴史遺産 学科准教授	H28.8.8～ H30.8.7	大阪市文化財保護 条例第53条第4項 による学識経験者	近世史	再 任 (4期目)
いしかわともひこ 石川知彦	龍谷ミュージアム教授	同 上	同 上	美術工芸(仏 像)	新 任
いちのせかずお 一瀬和夫	京都橋大学文学部歴史遺産 学科教授	同 上	同 上	考古(先史～ 古墳時代)	再 任 (2期目)
いわま かおり 岩間 香	摂南大学外国語学部教授(学 部長)	同 上	同 上	美術工芸(近 世絵画)	再 任 (2期目)
うえまつちよみ 植松千代美	大阪市立大学大学院理学研 究科講師	同 上	同 上	植物生態学	再 任 (2期目)
おうみはるこ 近江晴子	大阪天満宮文化研究所研究 員	同 上	同 上	近世文化史	再 任 (4期目)
おおもりけいこ 大森恵子	佛教大学歴史学部非常勤講 師	同 上	同 上	民俗	再 任 (2期目)
おのよしひろ 尾野善裕	独立行政法人国立文化財機 構奈良文化財研究所考古第 二室長	同 上	同 上	考古(歴史時 代)	新 任
きょうらくまほこ 京 樂真帆子	滋賀県立大学人間文化学部 教授	同 上	同 上	中世史(平安 ～鎌倉時代)	再 任 (2期目)
くさのけんし 草野顕之	大谷大学文学部教授	同 上	同 上	中世史(室町 ～戦国時代)	再 任 (8期目)
たに なおき 谷 直樹	大阪市立大学名誉教授	同 上	同 上	日本建築史	再 任 (8期目)
どのはしあきお 百橋明穂	神戸大学名誉教授	同 上	同 上	美術工芸(仏 画)	再 任 (8期目)
なかじませつこ 中嶋節子	京都大学大学院人間・環境学 研究科教授	同 上	同 上	近代建築史 ・近代都市史	再 任 (2期目)
ひろもと ゆかり 弘本由香里	大阪ガス株式会社エネルギ ー・文化研究所特任研究員	同 上	同 上	都市文化	再 任 (2期目)
ふるかわたけし 古川武志	大阪市史編纂所大阪市史料 調査会調査員	同 上	同 上	近現代史	新 任
まるやま ひろむ 丸山 宏	名城大学農学部教授	同 上	同 上	名勝	新 任
もりにしまゆみ 森西真弓	大阪樟蔭女子大学学芸学部 教授	同 上	同 上	上方芸能・芸 能史	再 任 (2期目)
やまわき さえこ 山脇佐江子	元姫路市立美術館長	同 上	同 上	近代美術	再 任 (2期目)

2 説明

任期満了に伴い、上記のとおり委嘱する。任期は、大阪市文化財保護条例第53条第5項の規定に基づき、委嘱の日から2年間（平成28年8月8日から平成30年8月7日まで）とする。

3 委員の選任方針について

- ・委員の専門分野は、大阪市に存在する多様な文化財についての意見を求めるため、建築が2名、民俗が1名、美術工芸が4名、歴史が5名、無形文化財（芸能、演劇等）が1名、名勝が1名、天然記念物1名、考古学2名、都市文化1名と、幅広い分野から選定した。
- ・男女比は18名中8名が男性、10名が女性で、「審議会等の設置および運営に関する指針」（総務局、平成28年改定）で求められた4割以上を満たしている。
- ・年齢層も40代から70代まで、幅広く求めた。
40代 3名 50代 6名 60代 8名 70代 1名。

4 委員の専門分野及び業績について

・有坂 道子

専門分野は日本近世史、大阪の近世史の全般に通じており、長く『新修大阪市史』の編纂にかかわる課程で、大阪の商家や文人にかかる記録・文書を調査・研究し、その成果を踏まえ、大阪の知識人の文化・経済活動等に関する多彩な研究活動を行っている。著書は『幕末京都における医家と医療』、『身分的周縁と近世社会5 知識と学問をになう人びと』（共著）など多数。

・石川 知彦

専門分野は日本美術史、特に仏像彫刻等、仏教美術について詳しい。長く大阪市立美術館で学芸員をつとめ、仏教美術を題材にした展覧会を多数実施した実績をふまえ、龍谷ミュージアムでも多彩な研究活動を行っている。著書は『聖徳太子の信仰の美術』（共著）、『図説 役行者』（共著）など多数。

・一瀬 和夫

専門分野は日本考古学であり、なかでも古墳時代について特に詳しい。大阪府教育委員会に勤務経験があり、市内の考古学についても詳しい。著書は『大王墓と前方後円墳』、『古墳時代のシンボルー仁徳天皇陵古墳』、『古墳への旅ー古代人のタイムカプセル』（共著）など多数。

・岩間 香

専門分野は近世日本絵画史であり、地域や寺院等の現地調査を多く手掛けている。展覧会の企画等にも造詣が深い。大阪天満宮における近世絵画の調査をはじめ、市内での絵画調査に長年の実績がある。著書に『祭りのしつらいー町家とまちなみ』（共編著）、『寛永文化のネットワークー隔冥記の世界』（共編著）など。

・植松 千代美

専門分野は植物生態学。「市民参加による大学附属植物園を利用した環境教育プログラムの開発」など、市大附属植物園等を活用した市民向けの普及啓発活動を企画。「都市と森の共生をめざす研究会」等を主催。著書に『クローン植物大量生産の実際技術』（共著）、研究論文に「木本組織培養」「有用植物遺伝資源の長期保存法の確立」など。

・近江 晴子

専門分野は近世文化史。大阪天満宮の所蔵史料の歴史資料研究に大きな実績を有する。大阪の在地史料について精通しており、市内における文化財調査にも早くから関わっている。著書に『助松屋文書』、『大阪天満宮夏大祭天神祭と秋大祭流鏝馬式史料 慶応元年～明治二十年』（共編著）などがある。

- ・大森 恵子
 専門分野は民俗学で、特に宗教儀礼を専門とする。平野の融通念仏儀式など、市内での民俗調査を多数実施。著書に『稲荷信仰と宗教民俗』など。市内の寺院、神社に伝わる習俗・儀礼などにも造詣が深い。
- ・尾野 善裕
 専門分野は日本考古学及び陶磁史で、歴史時代(飛鳥～江戸時代)について幅広い見識をもつ。京都国立博物館工芸室長を経て現職。前職では「日本人と茶―その歴史・その美意識―展」「京焼―みやこの意匠と技―展」「魅惑の清朝陶磁展」など伝世品と考古資料を関係付けた展示を企画した。著書に『新修 名古屋市史 資料編 考古2』(共著)などがある。
- ・京樂 真帆子
 日本史のうち特に平安時代～鎌倉時代を中心とする王朝文化に詳しい。木簡の研究など、難波宮跡、四天王寺など大阪の古代史研究にも造詣が深い。著書に『平安京都市社会史の研究』、現在行っている研究としては「古代・中世における乗り物文化の学際的研究」など。
- ・草野 顕之
 専門分野は中世史。大坂(石山)本願寺に代表されるように、大阪と真宗とは歴史上深い結びつきがある。こうした真宗教団関係の中世史料について、組織や制度の問題を戦国期から南北朝時代にさかのぼって研究。著書は『戦国期本願寺教団史の研究』、『真宗教団の地域と歴史』など多数がある。
- ・谷 直樹
 専門分野は日本建築史で、なかでも近世建築や産業文化財について優れた研究を数多く発表しており、大阪の建造物全般について広い知識を有している。市内における橋梁等の産業文化財をはじめとする建造物調査にも早くから関わっており、市内各所に所在する建築関係の文化財に関する学問的な研究は優れて膨大である。著書に『中井家大工支配の研究』、『まちに住まう・大阪都市住宅史』(共著)などがある。
- ・百橋 明穂
 専門分野は美術工芸(仏画)。仏教美術にかかる絵画史料、すなわち仏画について、大阪市内に多数残っている平安～鎌倉時代の資料に関する調査に早くから関わっており、その学問的知識は比類がない。著書には『仏教美術史論』、『東アジア美術交流史論』、『古代壁画の世界 高松塚・キトラ・法隆寺金堂』などがある。
- ・中嶋 節子
 専門分野は近代建築史・近代都市史で、他に歴史的環境保全などに造詣が深い。これまでに市内の近代化遺産(交通、産業遺産など)、住宅などの調査を手掛け、伝統的町家、長屋などの活用計画などもおこなっている。著書に『近代日本の郊外住宅』、『近代とは何か―都市・建築・歴史シリーズ』7(共に共著)など。
- ・弘本 由香里
 都市文化に造詣が深く、生活、文化の視点で住まいやまちづくりについて総合的な研究をおこなっている。行政等へのアドバイザーとしても各種委員を歴任。著書に『大阪 新長屋暮らしのすすめ』、『自治都市大阪の創造』(ともに共著)。
- ・古川 武志
 専門は近現代史。大阪の近代史料の調査をおこない、特に大阪の大衆文化に詳しい。著書に『モダン道頓堀探検』(共著)、執筆論文に「洋楽の展開と道頓堀ジャズ」、「戎橋筋商店街百周年―画像に見る戎橋、戎橋筋―」などがある。

・丸山 宏

専門分野は名勝で、日本庭園を中心に、近代都市公園や文化的景観など、幅広いフィールドに及ぶ。日本造園学会理事、文化庁文化審議会専門委員などを務める。特別史跡大坂城跡をはじめとした大阪の歴史公園にも詳しい。『近代日本公園史の研究』、『造園を読むーランドスケープの四季』（共著）、『環境デザイン学ーランドスケープの保全と創造ー』（共著）などがある。

・森西 真弓

日本芸能史、上方伝統芸能、近代日本演劇を専門分野とし、『上方芸能』の編集長を長く努めた。大阪固有の伝統芸能の形態や伝承について詳しい。主な著書『上方芸能への招待』、『上方芸能の魅力ー雁次郎・玉男・千作・米朝の至芸』など。「咲くやこの花賞」受賞（1993）。

・山脇 佐江子

近代美術を専門とする。大阪市近代美術館（仮称）の美術資料収集審査委員会委員、御堂筋彫刻設置検討会議委員として、大阪市の近代美術振興に寄与。名古屋ボストン美術館の設立プロジェクトを主導。美術館勤務時に各種展示会等を企画、運営。

(参考)

大阪市文化財保護条例（抄）

（審議会）

- 第 53 条 文化財保護法第 190 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会に審議会を置く。
- 2 審議会は、この条例の規定によりその権限に属するものとされた事項その他本市における文化財等の保護に関する重要事項について、教育委員会の諮問に応じて調査し、又は審議するとともに、教育委員会に意見を述べることができる。
 - 3 審議会は、委員 20 人以内で組織する。
 - 4 審議会の委員は、学識経験者その他教育委員会が適当と認める者のうちから、教育委員会が市長の意見を聴いて委嘱し、又は命ずる。
 - 5 審議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 6 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

大阪市文化財保護条例施行規則（抄）

（委員）

- 第 40 条 大阪市文化財保護審議会（以下「審議会」という。）の委員の再委嘱又は再任命は、これを妨げない。ただし、満 80 歳に達した者はこの限りでない。